

2023年度 第3回

あしぎんマロニエ 県庁コンサート

とき：令和5(2023)年8月2日(水)12:10~12:50

ところ：栃木県庁舎本館1階・県民ロビー

出演者：山崎

山口理貴(津軽三味線)

岩崎和広(アコースティックギター)

演奏曲目

1. 那須音頭 栃木県民謡・山崎編曲

那須地方で唄い踊り継がれてきた民謡。那須の温泉・殺生石・山々・つつじ等観光の魅力を唄った民謡をアレンジしました。元来のメロディーに加え、殺生石の九尾の狐伝説をモチーフに妖艶さも加えたアレンジをお楽しみ下さい。

2. 芳賀の子守唄 栃木県民謡・山崎編曲

芳賀地方に伝わる子守唄。日本の子守唄らしいゆったりとしたメロディーの中に「高いお山の筑波みろ」「おともりや楽なようで楽じゃない」等の歌詞があり、風景や生活の描写を感じ取れる曲です。山崎アレンジによる、眠れるような眠れないような世界観をお楽しみ下さい。

3. 美田 作曲：岩崎 和広

「津軽三味線」は、静から動まで幅広いダイナミズムを有する楽器です。小山市の田園風景から着想を得たこの楽曲は、津軽三味線の「静」の部分により着目した山崎のオリジナル曲です。生演奏ならではの空気感、ギターと津軽三味線のゆったりとした呼吸をお楽しみ下さい。

4. 日光和楽踊り 栃木県民謡・山崎編曲

多くの栃木県民に盆踊り唄として馴染みがあり、夏祭りを思い浮かべる唄。栃木県民謡の中でも一番有名であるこの曲から、私達山崎の栃木県民謡アレンジ制作が始まりました。ぜひ手拍子・踊り・唄など自由に参加いただきながらお聴きください。

5. 県民の歌 作詞：岡きよし 作曲：川島博

歌詞、曲ともに公募し、昭和37年に制定されました。津軽三味線とアコースティックギターによる演奏をお楽しみください。

主催：栃木県生活文化スポーツ部文化振興課 (TEL 028-623-2153)

令和5年度ネーミングライツパートナー：株式会社 足利銀行

印刷協力：株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

*曲目・曲順は変更となる場合があります。

*座席数は約100席です。

*発熱や風邪の症状がある場合は来場をお控えください。

*手指消毒については、常設の消毒液を御利用ください。

「あしぎんマロニエ県庁コンサート」今後の予定

9月6日 宇短大音楽科学生 アンサンブル∞

10月4日 宇都宮 シニア アンサンブル

11月1日 インティ3

12月6日 とちぎ未来大使 下司倫宇起と仲間たち♪



2019年結成。津軽三味線・アコースティックギターのデュオ。
ポップス・ジャズ・民謡アレンジ等、様々なジャンルを和洋の
要素を織り混ぜ演奏。特に2人の出身である栃木県民謡を編曲し、
コンサート・イベント企画、ホテル・カフェ・古民家での演奏等を行う。
2020年CD「醸-kamosu-」発表。栃木県民謡「日光和楽踊り」の
アレンジ曲の他、収録曲「上善」は宇都宮市とニュージーランド・
オークランド市の姉妹都市提携40周年記念動画に使用された。

出演者からのメッセージ

津軽三味線とアコースティックギターによる、和洋折衷の珍しいデュオで演奏します。オリジナルから栃木県民謡アレンジ等、2人の出身である栃木県に因んだ曲も多数制作しており、この度県庁で演奏できる事を大変楽しみにしております。多くの方に栃木県民謡をさらに身近に感じていただき、また和洋問わず音楽の楽しさを一緒に感じていただける機会になればと思います。

山口理貴

津軽三味線小山流師範
(雅号：小山清世貴)

宇都宮市出身。
15歳より小山貢清世氏に師事、17歳で雅号取得。
県内活動の他、NHKでの北島三郎氏の伴奏、日本レコード大賞での吉田兄弟との共演、カンボジア・プノンペン大学での演奏などを行った。
近年は洋楽器との共演や県内各地で指導も行っている。
・2019年：ナオト・インティライミの世界デビュー曲「エルハポネス」PV出演。
・2021年：WOWOWドラマ「向こうの果て」津軽三味線弾きとして出演。

岩崎和広

音楽家 ギタリスト
Freehand Music 代表

宇都宮市出身。
14歳からエレキギターを始め、井筒好治氏にギターを師事、菊地成孔氏に楽理を師事。
アコースティックギターを用いたフィンガースタイルによる独演を軸に、デュオやバンドと様々な形で県内外のライブハウス、カフェ、バー等場所を問わず活動。
ラジオ等メディアへの楽曲制作・提供、音楽講師としても活動。
アコーディオン奏者・藤野由佳とのデュオ「Bellow Bears」では2021年1stアルバム「Lino Rino」リリース。

山崎

